

# 平成24年度 病害虫発生予察情報 予報第11号

平成24年9月6日  
広島県東部農業技術指導所

## 1 発生予察情報

### (1) 大豆（9月上旬調査）

◇ 適用地域：県東部

| 病害虫名           | 発生量（平年比） |    | 防除上の注意事項   |
|----------------|----------|----|--|
|                | 現況       | 予想 |  |
| カメムシ類<br>（吸実性） | 少        | 少  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 莢伸長期（開花後20日）～子実肥大期（開花後45日）にかけて2～3回の防除を徹底する。</li> <li>・ カメムシ類による青立ち被害は、特に子実肥大初期の加害によって増加する傾向があるため、この時期の防除を徹底する。</li> <li>・ 2回の防除後もほ場内でカメムシ類が散見される場合は、3回目の防除を行う。</li> <li>・ 防除に当たっては、大豆の莢に薬剤が十分にかかるよう散布する。</li> </ul>   |
|                |          |    | <p>大豆生育ステージ：◎開花期 ← 莢伸長期 → 子実肥大期</p> <p>カメムシ類の発生状況：発生量は子実肥大期にピークを築く。</p> <p>防除時期：①8月下旬、②9月上旬、③9月中旬</p>  |
| ハスモンヨトウ        | 少        | 少  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 耕種的防除 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卵塊や若齢幼虫が群生している白変葉を確認したら除去し、ほ場外で処分する。</li> </ul> </li> <li>■ 農薬による防除 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防除に当たっては、ほ場における白変葉の発生状況を確認し、防除効果の高い若齢幼虫期に実施する。</li> <li>・ 防除に当たっては、薬剤が葉裏に十分かかるようにする。</li> </ul> </li> </ul> |

\* 播種の時期によって生育ステージにバラツキが生じているので、ほ場の状況を確認して防除を実施する。

## 2 その他病害虫の発生状況

| 作物名         | 病害虫名 | 現況      | 病害虫名      | 現況      |
|-------------|------|---------|-----------|---------|
| 大豆<br>【県東部】 | べと病  | 並       | フタスジヒメハムシ | 少       |
|             | 葉腐病  | 並（発生なし） | アブラムシ類    | 少（発生なし） |

### 3 予報の根拠

#### (1) 大豆 (9月上旬調査)

##### ア カメムシ類 (吸実性)

###### (ア) 巡回調査結果

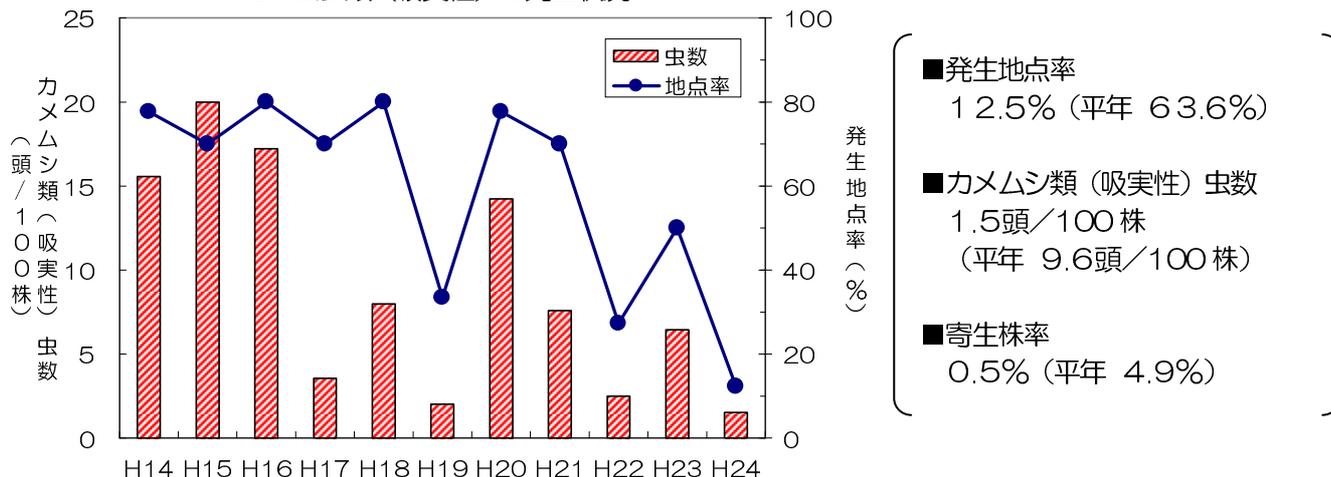
カメムシ類 (吸実性) は、平年に比べ少ない発生であった。

###### (イ) 今後の気象 (向こう1か月)

気温は、平年に比べ高い確率が40%と予想されている。

###### (ウ) 調査結果の具体的数値 (グラフ)

カメムシ類 (吸実性) の発生状況



##### イ ハスモンヨトウ

###### (ア) 巡回調査結果

心化幼虫の初期加害で生じる白変葉の発生箇所数は、平年に比べ少ない発生であった。

###### (イ) フェロモントラップ調査 (三原市久井町)

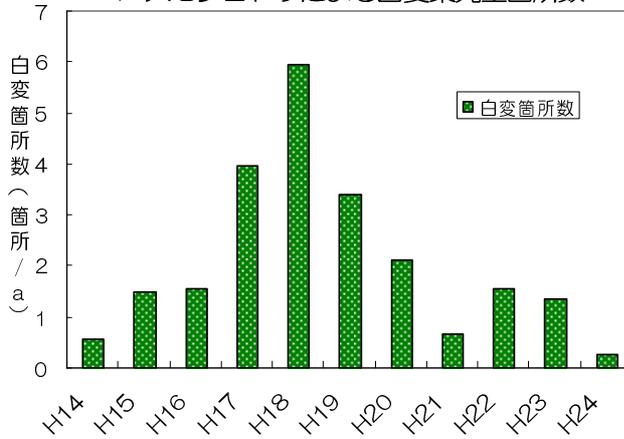
8月第6半旬の誘殺数、6月第1半旬~8月第6半旬の累積誘殺数ともに、平年に比べやや少ない。

###### (ウ) 今後の気象 (向こう1か月)

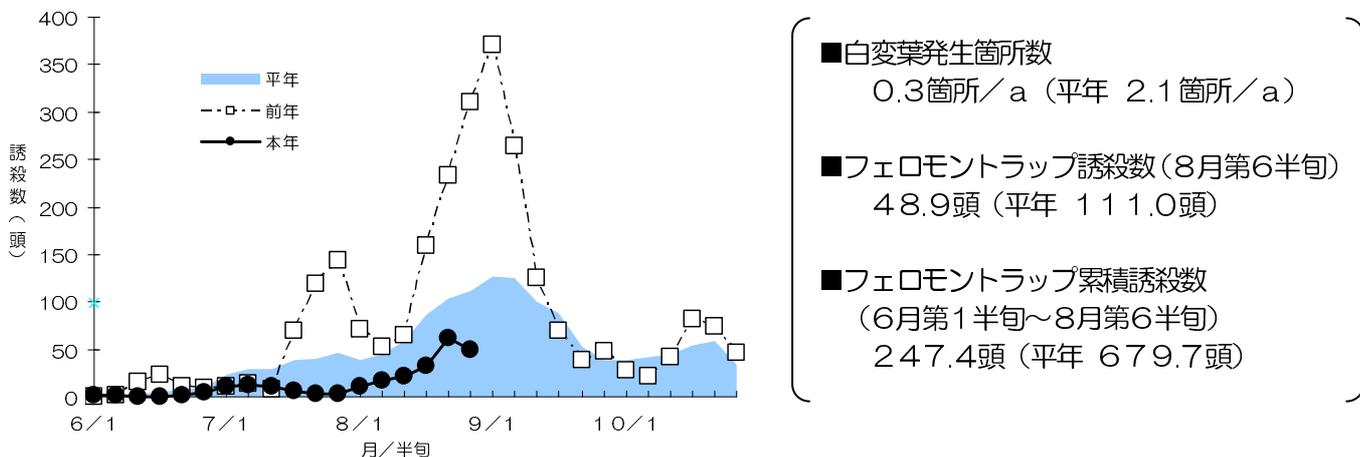
気温は、平年に比べ高い確率が40%と予想されている。

###### (エ) 調査結果の具体的数値 (グラフ)

ハスモンヨトウによる白変葉発生箇所数



ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数 (三原市久井町)



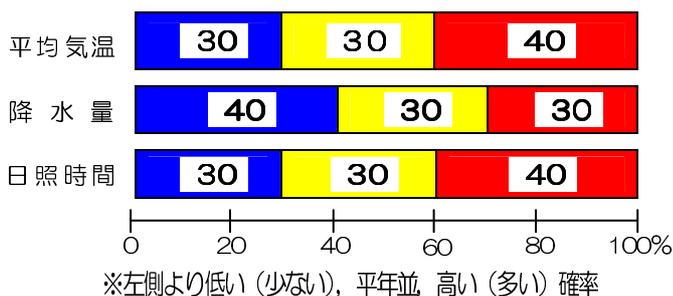
## 4 その他病害虫の発生状況

| 作物名         | 病害虫名      | 地点率 (平年値)     | 発生率等 (平年値)        |
|-------------|-----------|---------------|-------------------|
| 大豆<br>【県東部】 | べと病       | 62.5% (81.0%) | 発病度 11.8 (11.1)   |
|             | 葉腐病       | 0% (10.3%)    | 発病度 0 (0.3)       |
|             | フタスジヒメハムシ | 25.0% (68.0%) | 寄生株率 1.0% (20.9%) |
|             | アブラムシ類    | 0% (43.2%)    | 寄生株率 0% (6.5%)    |

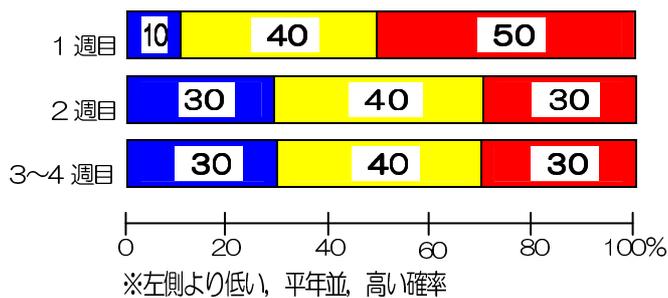
## 5 気象情報

- 中国地方1か月予報 (9月1日から9月30日) 【広島地方気象台8月31日発表】  
 天気は数日の周期で変わるでしょう。週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。

□向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)

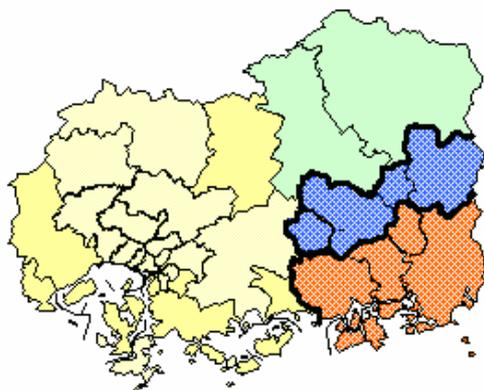


□向こう1か月の気温経過の各階級の確率(%)



## 6 情報にかかる用語説明等

### (1) 地帯区分



| 地帯区分 |    | 該当市町                                      |
|------|----|---|
| 県東部  | 中部 | 三原市久井町, 三原市大和町, 世羅町, 府中市上下町, 神石高原町        |
|      | 南部 | 三原市 (久井町, 大和町を除く), 尾道市, 福山市, 府中市 (上下町を除く) |

- 東部農業技術指導所管内【中部地帯】
- 東部農業技術指導所管内【南部地帯】

### (2) 平年値

過去10年間 (平成14年~平成23年) の平均値です。

**(3) 予想発生量・現況**

原則として過去10年の数値をもとに気象予報等を参考にして、本年の発生量がどの程度かによって次の5階級に区分して予報しています。

- 多 … 予想発生量が過去10年の最大値と同程度の場合を表します。
- やや多 … 予想発生量が過去10年の2～3番目に多い値と同程度の場合を表します。
- 並 … 予想発生量が過去10年の4～7番目に多い値と同程度の場合を表します。
- やや少 … 予想発生量が過去10年の2～3番目に少ない値と同程度の場合を表します。
- 少 … 予想発生量が過去10年の最小値と同程度の場合を表します。

| 予想発生量         | 多 | やや多 |   | 並 |   |   |   | やや少 |   | 少  |
|---------------|---|-----|---|---|---|---|---|-----|---|----|
| 過去10年間の値(多い順) | 1 | 2   | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8   | 9 | 10 |

なお、現況欄についても予想発生量と同様の方法によって現時点の発生状況を5階級に区分し、表記しています。

**(4) 発病程度【べと病、葉腐病】**

発病度0は、発病が無く、数値が高くなるほど発病株が多くなり、株ごとの発病程度が甚だしいことを示します。

**7 その他の情報**

**(1) 農薬危害防止について**

農薬を使用する際は、使用基準を遵守すると共に周辺環境に注意し、ミツバチなどに被害が発生しないよう飛散防止に努めましょう。

また、農薬は鍵のかかる場所へ保管するなど、農薬による危害防止に努めてください。

**(2) 各種情報提供**

■病害虫発生予察情報について

病害虫発生予察調査データ(フェロモントラップ及び巡回調査データ)や広島県病害虫・雑草防除基準が掲載されています。適切な病害虫防除に活用してください。

掲載場所：広島県HP「病害虫防除」

([トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [しごと・産業](#) > [農林水産業](#) > [農業](#) > 病害虫防除)

【アドレス】 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/byougaicyuuboujyo.html>

■テレホンサービス

農業技術指導所(病害虫防除所)では、病害虫の発生状況をできるだけ速やかにお知らせするため、テレホンサービスを行っています。

気象条件により発生が大きく左右される病害虫や、ウンカ等の長距離移動性害虫の飛来状況などの情報収集に役立ててください。

| 地域    | 電話番号         | 対象市町                           |
|-------|--------------|--------------------------------|
| 尾三・福山 | 082-429-3032 | 三原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 神石高原町, 世羅町 |

■メールマガジン「ひろしま県 病害虫情報お知らせメール」の配信について

広島県では、携帯電話等のメール機能を活用した農作物病害虫等の情報配布サービスを行っています。広島県HP「病害虫防除」に記載の手順で登録していただき、現場指導等に活用してください。なお、詳しい内容は、広島県HP内の「病害虫防除」で確認してください(上記参照)。

掲載場所：広島県HP「ひろしま県病害虫情報お知らせメールの配信について」

([トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [しごと・産業](#) > [農林水産業](#) > [農業](#) > 病害虫発生予察情報)

【アドレス】 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/40948.pdf>

**(3) 次回予察情報の発表予定**

次回の病害虫発生予察情報（予報第12号）の発表予定は、3月上旬です。対象は、かんきつ及び果樹カメムシ類です。

**(4) 今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先**

東部農業技術指導所 病害虫防除チーム（東部病害虫防除所）  
 【福山市三吉町一丁目1-1, 電話 084-921-1311（内線3810・3811）】

**8 病害虫図鑑**

**ハスモンヨトウ**

葉裏に産み付けられた卵塊からは、多数の幼虫がふ化し、群がって葉の表皮を残して食害するため、被害葉は白～淡褐色に透けて見える（白変葉）。中齢幼虫以上になると分散して食害し始める。

幼虫は広食性であり、大豆、多くの野菜（きゃべつ、トマト、アスパラガス、ねぎ、いちご、なす、ピーマン等）、花を食害する。



老齢幼虫  
 幼虫が大きくなると、薬剤が効き難くなるので、見つけたら捕殺する。



卵塊

卵は葉裏に塊状に産み付けられ、茶褐色の綿毛に覆われている。



若齢幼虫と白変葉

若齢幼虫の被害葉は、白～淡褐色に透けて見えるため、白変葉とよばれる。

**カメムシ類（吸実性）**

大豆子実への加害時期によって被害の様相が異なり、莢伸長期の加害（吸汁）では落莢、子実肥大期の加害では莢不稔や奇形粒を生じる。

吸実被害が激しくなると、子実が発育停止し、莢が板莢となり、莖葉がいつまでも緑色を保つ、いわゆる「青立ち」症状を呈し、コンバインでの収穫作業に支障を来す。



ホソヘリカメムシ



カメムシ類（吸実性）による被害粒